

Sinfonia

シンフォニア

KHATTIA  
BUNNIA  
TISHVILI

カティア・  
ブニアティシヴィリ  
ピアノリサイタル

Close Up

パリ管弦楽団、関西紅白オペラ歌合戦 ほか 12月の豪華ラインナップ

1年の幕開けを華やかに祝おう! ザ・シンフォニーホールのニューイヤーコンサート

外山雄三「三大交響曲」インタビュー

ほか

- 2 外山雄三「三大交響曲」インタビュー
- 3 スヴェトラーナ・ザハロワ&ワディム・レービン “パ・ド・ドゥ for Toes and Fingers”-瀕死の白鳥-  
尾高忠明×大阪フィルハーモニー交響楽団（ブラームス・チクルス）-ロマン派の極致-
- 4 ベートーヴェン第九交響曲 角田鋼亮指揮 京都市交響楽団  
関西フィルハーモニー管弦楽団「第九」特別演奏会  
大植英次指揮 躍動の第九  
第九 de クリスマス  
大阪交響楽団 特別演奏会 感動の第九  
21世紀の第九 ～第九とアダージェット～
- 6 古澤巖×ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトウオージのクリスマス  
三浦一馬 キンテート クリスマス・スペシャル・ナイト  
ザ・シンフォニーホール クリスマス オルガンコンサート 2018
- 7 MIKIMOTO 第59回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート ダニエル・ハーディング指揮 バリ管弦楽団  
大阪交響楽団 0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ Vol.13  
関西紅白オペラ歌合戦
- 8 ザ・シンフォニーホール カウントダウンコンサート 2018-2019/ニューイヤーコンサート 2019
- 9 ニューイヤー祝祭コンサート『椿姫』『蝶々夫人』  
ウィーン・サロン・オーケストラ ニューイヤーコンサート2019
- 10 3大協奏曲 2019 ～次世代を担う未来の巨匠たち～  
The Symphony Hall Big Band ～Music Director 菊池寿人～ Vol.13
- 11 昇天一年メモリアル&“愛のうた”収録CD発売記念 日野原重明プロデュース ベー・チェチョル コンサート  
オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ 第123回定期演奏会
- 12 長富彩 ピアノ・リサイタル Vol.3 オール・ショパン・プログラム  
カティア・ブニアティシヴィリ ピアノリサイタル
- 13 川井郁子 シンフォニック バレンタインコンサート ～シネマ・ファンタジー～  
大植英次指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団「シェエラザード」×「春の祭典」
- 14 菅原洋一コンサート2019 ～歌いつづけて60年～  
The Symphony Hall String Quintet Vol.5
- 15 日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール ラフマニノフ&サン＝サーンス 2つの第3番  
想い出がいっぱい 珠玉のシネマ名曲 SELECTION VOL.5 荒庸子 チェロ・リサイタル 2019
- 16 プロジェクションマッピング×パイプオルガン 超絶のオペラ座の怪人 リターンズ!!  
台湾フィルハーモニック
- 18 ABCテレビ主催公演・イベント情報
- 22 日本センチュリー交響楽団
- 24 welcome more musicians!音楽を愛する団体が集うザ・シンフォニーホール
- 25 ホールトピックス
- 26 堀江政生のシンフォニア・アワーVol.30
- 27 Concert Calender 2018.11～2019.1

11月のSinfonia会員先行予約

●先行予約:11月22日(木) 10:00AM～  
※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。※ザ・シンフォニー チケットセンター窓口、館内プレイガイドでの販売は  
ございません。※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。  
●電話:ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (10:00～18:00 火曜定休) ●WEB:<http://www.symphonyhall.jp/>

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただけますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、  
メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

登録費  
年会費  
無料!

▼ WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ

<http://www.symphonyhall.jp/> からご登録下さい。



携帯・スマートフォンをご使用  
の方はこちらからアクセスして  
いただけます。

▼ ハガキでのご登録

定型ハガキに右記の情報を記載いただき、62円切手を貼付の上、ポストに投函ください。

※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。[@  
symphonyhall.jp]をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

切手  
531-8501  
ザ・シンフォニーホール  
〒530-0033  
大阪府北区大崎南

会員登録希望  
1. お名前(フリガナ付)  
2. 性別  
3. 郵便番号  
4. 住所  
5. 電話番号  
6. メールアドレス  
(メールマガジンの  
受取を希望の場合)

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規範に準じ適正に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のみに使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1)シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送(2)ザ・シンフォニーホールで開催する事業をご案内する印刷物の発送(3)ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡(4)ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発・改善を目的とした調査・研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積(5)チケット予約販売に伴う、ご本人確認および連絡(6)株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものといたします。○お客様の個人情報、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報に安全に管理されるよう適切に監視します。

表紙の一枚「カティア・ブニアティシヴィリ ピアノリサイタル」

※記載内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

ザ・シンフォニーホール / ザ・シンフォニー チケットセンターより



お詫びとお知らせ

平素よりザ・シンフォニーホールおよび  
ザ・シンフォニー チケットセンターをご利用頂き、誠にありがとうございます。  
ザ・シンフォニー チケットセンターでは、  
8月下旬に行いましたWEBでのチケット販売に関するシステム更新に伴い、  
大規模な障害が発生いたしました。  
今回の度重なるシステム障害により、皆様には長らくの間ご不便、  
ご迷惑をお掛け致しましたことを、深くお詫び申し上げます。

今回のシステム更新に伴い、下記サービスがご利用可能となりました。

◆ WEBにカート機能がついて  
複数公演の  
チケット購入が可能に

これまでは1公演ご購入ごとに毎回  
540円の送料をご負担いただいておりますが、カート機能が付いたこと  
により、1回の送料で複数の公演を  
同時にご購入いただけるようになりました。

※ただし、カートに入れられる上限枚数は8枚となります。

◆ クレジットカードの  
種類が増えました

お客様のご要望にお応えし、ご利用  
いただけるクレジットカードの種類が  
増え、下記の通りとなりました。

VISA/MASTERCARD/JCB  
AMERICAN EXPRESS/  
DINERS CLUB/PiTaPa/  
J-Debit/iD

※PiTaPa、J-Debit、iDは窓口、館内プレイガイド  
のみ。その他のカードはすべての購入方法でご利用  
頂けます。

◆ チケット発券  
手数料について

2019年1月より、ザ・シンフォニーホール  
の主催公演については、窓口、館  
内プレイガイドでの販売に限り、発券  
手数料を0円とさせていただきます。

※WEB、電話でのチケット販売におきましても、今後、  
発券手数料を無料にできるよう引き続きシステムの  
更新に努めてまいります。まずは先行して、ザ・シン  
フォニーホール主催公演のチケットのみを対象に、  
窓口、館内プレイガイドにて実施いたします。

私たちはお客様の利便性を高めることを第一に考え、

チケットレスサービスの開発など、

今後もより良いサービスをご提供できる環境を目指し、精進して参ります。

引き続き、ザ・シンフォニーホール及び

ザ・シンフォニー チケットセンターをご愛顧の程、

宜しく願い申し上げます。

速報!!

レーピンとザハーロワによる芸術家夫婦の夢の共演が大阪に上陸!

# スヴェトラナ・ザハーロワ & ワディム・レーピン “パド・ドウ for Toes and Fingers” —瀕死の白鳥—



クラシック音楽ファンも、バレエファンも見逃せない。夢の共演が再び、日本で実現する。

「ロシアの至宝」とたたえられるポリシヨイ・バレエのプリンシパル(最高位ダンサー)、スヴェトラナ・ザハーロワとその夫で世界的バイオリニストワディム・レーピンによる、究極のコラボレーション公演は、2人が出会った日本で2016年から続く。その目玉が、夫婦ならではのヴァイオリン演奏によるバレエ「瀕死の白鳥」だ。

アンナ・パヴロワやマイヤ・プリセツカヤら、伝説的プリマバレエがサン・サンス作曲の「白鳥」のチェロに合わせ、踊ってきた名作。死を目前にした白鳥が、最後の生命の輝きを全身で表現するソロは、選ばれた名花しか踊れなかった演目でもある。

もちろん同作をレパートリーにしてきたザハーロワだが、2016年6月、東京でレーピン奏でるヴァイオリンの旋律に乗り、「瀕死の白鳥」を初披露した。舞踊の伴奏をするのは、「妻との公演だけ」(レーピン)。芸術家夫婦による究極の交歓で舞台に現れた、はかなく消えゆく白鳥に、観客は総立ちで喝采を送った。2人が出会った「特別な場所」(ザハーロワ)という日本だからこそ見られる、特別な公演なのである。

(文 飯塚友子)

[ヴァイオリン]ワディム・レーピン  
[バレエ]スヴェトラナ・ザハーロワ  
[バレエ]ミハイル・ロプーチン ほか  
フェスティバル・アンサンブル(リーダー:南 紫音)

[ザハーロワ出演曲]グラスノフ「ライモンダ」よりグラン・アダージョ[振付]マリウス・プティパ[改訂振付]牧阿佐美/サン＝サーンス「瀕死の白鳥」[振付]ミハイル・フォーキン/J.ウィリアムズ「シンドラーのリスト」よりRevelation[振付]平山素子(録音音源使用) ほか  
[レーピン・ソロ曲]サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオソ/チャイコフスキー:ワルツ・スケルツォ/マスネ:タイスの瞑想曲 ほか

2019.6/5(水) 7:00PM  
SS 16,200円 S 10,800円 A 6,480円 (税込)  
[ご予約・お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
[主催]AMATI/ザ・シンフォニーホール  
先行予約:11/22(木) 一般発売:11/25(日)

速報!!

ブラームスの創作の軌跡を追体験できる「一粒で二度おいしい」全4公演!

# 尾高忠明×大阪フィルハーモニー交響楽団 〈ブラームス・チクルス〉 —ロマン派の極致—



[指揮]尾高忠明/[独唱]清水華澄★IIのみ出演/[合唱]大阪フィルハーモニー合唱団/[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

I 2019. 5/11(土) 2:00PM ハイドンの主題による変奏曲 op.56a/埋葬の歌 op.13/交響曲 第1番 ハ短調 op.68	II 2019. 7/13(土) 2:00PM アルト・ラプソディー op.53★/運命の歌 op.54/交響曲 第2番 二長調 op.73	III 2019. 9/4(水) 7:00PM 悲劇的序曲 op.81/哀悼の歌 op.82/交響曲 第3番 へ長調 op.90	IV 2019. 11/20(水) 7:00PM 大学祝典序曲 op.80/運命の女神の歌 op.89/交響曲 第4番 ホ短調 op.98
--	--	--	---

[全4回セット券] A 19,000円 B 14,000円 (税込)  
※ザ・シンフォニー チケットセンターでの販売はありません。  
一般販売:2018.12/11(火)

[各1回券] A 6,000円 B 4,500円 C 3,000円 (税込)  
[ご予約・お問合せ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890  
[主催]公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会/ザ・シンフォニーホール  
一般販売:I 2019.1/29/II 2019.4/23/III 2019.5/21/IV 2019.7/30  
※ザ・シンフォニー チケットセンターでの販売は、Sinfonia1月号にてお知らせします。

2019年、大阪フィルが尾高忠明音楽監督とともに、4回にわたるブラームス・チクルスに取り組み。ブラームスは生涯に4曲の交響曲を作曲している。その4曲すべてを聴けるのがチクルスの魅力。といっても、単に全4曲を通すだけなら、一度の公演に2曲ずつを演奏し、2日間を終えることもできる。しかし、今回のチクルスは全4回。毎回1曲ずつの交響曲に加えて、合唱曲も演奏するプログラムが組まれた。交響曲に比べると聴く機会は少ないものの、味わい深い名作がそろっているのがブラームスの合唱曲。交響曲と合唱曲を同時に楽しめて「一粒で二度おいしい」のが、今回のチクルスの最大の特徴だ。

交響曲と合唱曲はいずれも作品番号順に取りあげられる。初期の作品から晩年の作品へ。第1回から順に聴き進めることで、ブラームスの創作の軌跡を追体験することができる。

今や日本を代表する名指揮者となった尾高忠明だが、1972年に初めて大阪フィルの指揮台に立った際は「足が震えた」という。以来、40年以上の共演を経て、2018年に同楽団音楽監督に就任した。長年の信頼関係から生み出されるブラームス。円熟味あふれる名演を期待できるだろう。

(文 飯尾洋一)

速報!!

# 11月発売の注目コンサート!!

ザ・シンフォニーホールが春に開催するコンサートが早くも決定!

速報!!

外山雄三、覚悟の三大交響曲  
3つの傑作を一夜にして演奏する

# 外山雄三 「三大交響曲」

Interview



指揮 外山雄三

大阪交響楽団が来年の4月に『未完成』『運命』『新世界より』のいわゆる三大交響曲を演奏する。しかも指揮は当団のミュージック・アドバイザーであり、楽団最長老の外山雄三であるから否が応でも期待が高まるというものだ。

そんな折、外山に話を伺うことができた。

「三大交響曲をひと晩で演奏するっていうことはやはり大変なことなのです。戦後すぐの東京の音楽会では、しょっちゅうこの手の演奏会をやっていた、私の記憶が確かだとすれば、エンジ色のポスターが日比谷公会堂の2階のところに貼ってあって、別の音楽会を聴きに行くと、そこにもポスターがあったのをとても鮮明に覚えています。その当時から、お客様がそういったコンサートを聴きたいとお思いになっていたんでしょうね。オーケストラも指揮者も思えばさぞかし大変だったろうと思いますけどね。それでもこのコンサートのおかげで人々にオーケストラが認知されたのなら、効果絶大だったでしょう」

いきなり昔話から始まったのだが、外山にとつてのシューベルトとはどんなものなのだろうか。

「私の幼い時代には、シューベルトは『歌曲の王』なんて教えられてたね。でもこの世界に入ってきた



©飯島 隆

と、交響曲や、弦楽四重奏などの室内楽、ピアノソナタだとかたくさん書いていて、どこが『歌曲の王』だよって言うぐらいに。でもいずれの作品も溢れるような美しいメロディーで書いている。彼の交響曲といえは『未完成』と『グレイト』ぐらいしか思い浮かばない人がほとんどで、特に初期のもの、第1番から第4番あたりはあまり演奏されない。でも、だからといって決して若書きの未熟な作品ではなくて、きちんと書かれてある。もしかすると未だにシューベルトの作曲家としての全貌を我々は知っていると言えないのかもしれないね。まだまだ謎の多い作曲家とも言えるのではないかと思います。」

大変意味深な発言だ。さらに。「もしかしたら『未完成』って、彼が形式にとらわれずにオーケストラで表現したい音楽が先に出てきちゃって、それをどんとと書き進めて行ったら、ものすごく長い交響曲になっちゃった。だってこの曲4楽章まで出来ていたら、50分を超えますもんね。だから『未完成』になっちゃったのかもね」

(取材・文 三宅坂幸太郎)

[指揮]外山雄三  
[管弦楽]大阪交響楽団

シューベルト:交響曲 第8番 口短調 D.759「未完成」  
ベートーヴェン:交響曲 第5番 ハ短調 op.67「運命」  
ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」

2019.4/12(金) 7:00PM  
S 6,480円 A 5,400円 B 4,320円 (税込)  
[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
[お問合せ]公益社団法人 大阪交響楽団 072-226-5522  
[主催]公益社団法人 大阪交響楽団/ザ・シンフォニーホール  
先行予約:11/22(木) 一般発売:11/25(日)

\*次号では交響曲第5番「運命」についてのインタビューをお届けします。

12/24

クリスマスと師走の名曲を  
一挙に楽しむ至福のひとつ

## 第九 de クリスマス

P20も  
チェック!

[指揮]延原武春  
[管弦楽]テレマン室内オーケストラ  
[合唱]テレマン室内合唱団  
[ソプラノ]六車智香 [アルト]渡邊由美子  
[テノール]鹿岡晃紀 [バリトン]篠部信宏  
[ヴァイオリン]浅井咲乃  
[リュート]高本一郎  
J.シュトラウスII: オペレッタ「こもり」序曲  
ベートーヴェン: 交響曲 第9番 二短調 op.125 [合唱付き]  
テレマン:  
「3つのトランペットとティンパニのための  
協奏曲」より 第1,2楽章 ほか



ザ・シンフォニーホールのクリスマス・イヴの風物詩「第九deクリスマス」が、今年も華々しく開催される。演奏はおなじみ、延原武春が指揮するテレマン室内オーケストラ&合唱団と名歌手たちだ。1963年創設の同団は、古楽器を使用することも出来る18世紀音楽の専門団体。同団指揮者であり、関西古楽界の雄でもある延原武春の「第九」は、ある時は斬新に、またある時は温かく懐かしい響きとリズムで、聴き手に様々な感動を呼び起こすに違いない。今回はこの傑作を挟むかたちで、J.シュトラウスII「こもり」序曲や、テレマン、J.S.バッハ、ヘンデルなどの名曲を演奏。クリスマス・イヴの午後を、選りすぐりの名曲の花々が埋め尽くす!

2018. 12/24(月・休)1:30PM A 5,500円 B 4,500円 C 売切 (税込)  
【お問合せ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

12/28

佐渡裕のタクトを受け継ぐ“21世紀の第九”の新境地  
21世紀の第九  
～第九とアダージェット～P20も  
チェック!

[指揮]ケン・シェ  
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団  
[合唱]京都バツハ・アカデミー合唱団  
[ソプラノ]上村智恵  
[アルト]山田愛子 [テノール]松本薫平  
[バリトン]萩原寛明



マーラー:  
交響曲 第5番 嬰ハ短調より  
第4楽章「アダージェット」  
ベートーヴェン:  
交響曲 第9番 二短調 op.125 [合唱付き]

1993年に佐渡裕の指揮で始まった日本センチュリー響の「21世紀の第九」。2011年からは、カナダ出身のケン・シェがタクトを受け継いだ人気シリーズが、今年もザ・シンフォニーホールの「第九」シリーズを秀麗に締め括る。06年にカナダの最優秀若手指揮者に与えられる「ジャン・マリ・パデ賞」に輝いた俊オシェ。「第九」の魅力を、「音楽の世界に無数の新しいアイデアを開拓した革命的な最高傑作で、全指揮者の人生の節目となる特別な存在」と語る。今回は、マーラーの交響曲第5番の憂愁に満ちたアダージェット(第4楽章)を序奏のように置き、その後「第九」を演奏する流れを予定しており、壮大な大河のような名演が予想される!

2018. 12/28(金)7:00PM A 6,000円 B 4,500円 C 売切 (税込)  
【お問合せ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

12/16

桂冠指揮者と共に贈る、一期一会の“躍動の第九”

大植英次指揮  
躍動の第九P20も  
チェック!

[指揮]大植英次  
[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団  
[合唱]大阪フィルハーモニー合唱団  
[ソプラノ]田崎尚美  
[メゾソプラノ]富岡明子  
[テノール]鈴木 准 [バリトン]原田 圭



ワーグナー:  
楽劇「神々の黄昏」より  
「ジークフリートの葬送行進曲」  
ベートーヴェン:  
交響曲 第9番 二短調 op.125 [合唱付き]

昨年井上道義の指揮で好評だった大阪フィルの人気シリーズ「躍動の第九」。今年の指揮は、2003～12年に同フィルの音楽監督を務め、現在は桂冠指揮者の大植英次。エネルギッシュな指揮姿で知られ、「楽しくなければ音楽でない」を信条とする彼は、これまでも同フィルと「第九」を度々共演し、一期一会の名演を繰り広げてきた。その地中深くから湧き出る鉱泉のような演奏は、まさに「躍動の第九」の名にふさわしいと言えるだろう。今回はまた、パイロイト音楽祭にも出演した大植が得意とする演目、ワーグナーの楽劇「神々の黄昏」より「ジークフリートの葬送行進曲」を演奏。「第九」をより重層的な5楽章形式の音楽のように楽しめそう!

2018. 12/16(日)2:00PM A 7,000円 B 売切 C 売切 (税込)  
【お問合せ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

12/27

鮮烈な響きと疾走感に満ち溢れた“感動の第九”は必聴  
大阪交響楽団 特別演奏会  
感動の第九

[指揮]シズオ・Z・クワハラ  
[ピアノ]弓張美季  
[ソプラノ]木澤佐江子  
[アルト]山田愛子 [テノール]二塚直紀  
[バリトン]萩原寛明  
[合唱]はばたけ唄!合唱団  
大阪交響楽団感動の第九  
特別合唱団2018



[管弦楽]大阪交響楽団  
モーツァルト: ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K.466  
ベートーヴェン: 交響曲 第9番 二短調 op.125 [合唱付き]

大阪交響楽団の年末の恒例企画「感動の第九」を指揮するのは、シズオ・Z・クワハラ。ヨーロッパでキャリアをスタートし、2009～16年にアメリカ・オーガスタ響の音楽監督を務めるなど、欧米での活動経験が豊富な期待の若手だ。近年は日本での活躍もめざましく、昨年1月には同響の定期演奏会にも登場。ペルリオーズ「幻想交響曲」で見せた鮮烈な響きと疾走感、今年の「第九」でも存分に味わえることだろう。今回はまた、弓張美季がソロを弾くモーツァルトのピアノ協奏曲第20番も演奏。幼少期からドイツで育ち、現在はウィーンを拠点に活動する若き本格派が、共に二短調で書かれた本作と「第九」との間にどんなアーチを描くかにも注目したい!

2018. 12/27(木)7:00PM S 6,000円\* A 5,000円 B 3,500円  
C 2,500円 オルガン 2,000円 (税込)  
【お問合せ】公益社団法人 大阪交響楽団 072-226-5522 ※Sはザ・シンフォニー チケットセンターでの取扱いなし

平成最後の年末はザ・シンフォニーホールで!

♪ にとっておきの時間を過ごせる ♪

12月の豪華  
ラインナップザ・シンフォニーホールの12月は、今年も第九やクリスマスコンサートなど、  
豪華ラインナップが目白押し!2年ぶりの来演となる世界最高峰のオーケストラ パリ管弦楽団、  
大人気オルガンコンサート、初開催の関西紅白オペラ歌合戦など  
忘れ得ぬ思い出となるステージが、待っています。

年末の風物詩「第九」。歓喜の演奏と歌がザ・シンフォニーホールの年末を彩る!

(文 渡辺謙太郎)

12/15

熟練のタクトが描き出す“第九”の真髄に期待大  
関西フィルハーモニー管弦楽団  
「第九」特別演奏会

[指揮]飯守泰次郎  
[ソプラノ]石橋崇実  
[アルト]小泉詠子  
[テノール]二塚直紀  
[バリトン]大沼 徹  
[合唱]田辺第九合唱団



モーツァルト:  
歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 K.527  
ベートーヴェン:  
交響曲 第9番 二短調 op.125 [合唱付き]

オーケストラ独自の“顔”と“心のこもった音楽”を追求する関西フィルの「第九」を指揮するのは、桂冠名誉指揮者の飯守泰次郎。同フィルとの活動は、常任指揮者時代も含めると17年に及び、その中で最も得意としてきたのが、ベートーヴェンやブラームスをはじめとしたドイツ音楽だった。彼はまた、2014年から今年9月まで新国立劇場の芸術監督を務めるなど声楽に造詣が深く、パイロイト音楽祭の元総監督ヴォルフガング・ワーグナーも、「飯守こそドイツ語でカベルマイスターと呼ぶにふさわしく、そこにはマエストロという言葉以上に大きな尊敬の念が込められている」と絶賛。その熟練のタクトが紡ぎ出す“第九”の真髄に期待しよう!

2018. 12/15(土)2:30PM S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円  
C 3,000円 (税込)  
【お問合せ】公益社団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381

12/11

注目の俊才が描く“駆け抜ける色彩 沸き上がる響き”  
ベートーヴェン第九交響曲  
角田鋼亮指揮 京都市交響楽団

[指揮]角田鋼亮  
[管弦楽]京都市交響楽団  
[合唱]大阪新音フロイデ合唱団  
[ソプラノ]四方典子  
[アルト]山田愛子  
[テノール]清水徹太郎  
[バリトン]三原 剛



モーツァルト:  
アダージェットとフーガ ハ短調 K.546  
ベートーヴェン:  
交響曲 第9番 二短調 op.125 [合唱付き]

2008年に広上淳一が常任指揮者に着任して以来、実力と人気をますます高めている京都市響。今回の指揮は、16年から大阪フィルの指揮者を務め、来年はセントラル愛知響の常任指揮者にも就任する俊才角田鋼亮だ。彼の持ち味は、自身の公式サイトタイトルの「駆け抜ける色彩 沸き上がる響き」。過去にベルリン音大で学び、ドイツ全音楽大学・指揮コンクール最高位に輝くなど、ベートーヴェンの母国で重ねた経験も活かしながら、若々しく情熱的な「第九」を聴かせてくれることだろう。今回は「第九」の前にモーツァルト「アダージェットとフーガ K.546」も演奏。弦楽合奏の力強い美しい調べは、「第九」との相性も抜群なので楽しみだ!

2018. 12/11(火)7:00PM A 6,000円 B 5,000円\* (税込)  
【お問合せ】大阪新音 06-6926-4888 ※Bはザ・シンフォニー チケットセンターでの取扱いなし

12/19

平成最後の冬、世界屈指のオーケストラの輝かしいサウンドを聴く  
MIKIMOTO 第59回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート  
ダニエル・ハーディング指揮 パリ管弦楽団



ダニエル・ハーディング  
©Julian-Hargreaves

隔々まで理知的でありながら感情表現は深く熱っぽい。新時代のマラー指揮者がハーディングだ。その解釈に込めるパトナーとして、パリ管弦楽団はまさに理想の存在。技術と音楽性の両面で楽員に総力戦を強いるマラーに取り組み上でフランスきっての名人集団が誇る輝かしいサウンドと機能美は最高の武器となる。

【指揮】ダニエル・ハーディング  
【ヴァイオリン】イザベル・ファウスト  
【管弦楽】パリ管弦楽団

ベルク：ヴァイオリン協奏曲  
マラー：交響曲 第1番 二長調「巨人」

2018. 12/19(水)7:00PM

S 19,440円 A 16,200円 B 12,960円  
C 売切 プレミアム 25,920円 (税込)

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
【主催】ザ・シンフォニーホール 【共催】公益財団法人ソニー音楽財団

を、的確な息遣いで支える指揮者とオーケストラ……。そんな姿が今から目に浮かぶ。マラーが活躍していた時代のウィーンに立ち込めていた世紀末的な空気の名残香も漂うような、甘美にして濃密な音空間に身を浸してみたい。そう、ここに名演の舞台は万全な形で整っているのだ。(文 木幡一誠)



イザベル・ファウスト  
©Felix Broede

12/10

世界のトップ奏者たちの一歩も譲らぬ圧巻のアンサンブル  
古澤巖×ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオージのクリスマス

ジャンルを超えて熱狂的なファンが多い古澤巖だが、中でもリピーターが多いのは「ベルリン・フィルハーモニー・ヴィルトゥオージ」とのコンサートだとは本人の弁。



【ヴァイオリン】古澤 巖  
【アンサンブル】ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオージ  
ロベルト・ディ・マリノ：コンチエルト第2番、第4番(新作)  
サン＝サーンス：死の舞踏  
リムスキー＝コルサコフ：スペイン奇想曲より  
Have Yourself a Merry Little Christmas ほか

2018. 12/10(月)7:00PM

S 6,500円 A 5,000円 (税込)  
【お問合せ】キーワードインフォメーション 0570-200-888  
【主催】NHKプラネット/ザ・シンフォニーホール

日本が誇るヴァイオリンの鬼才に、世界のトップ・オーケストラの組み合わせと相乗効果もさることながら、ステージを満たす感興の高さこそは、理由の最たるものだろう。

管弦楽曲からのアレンジ版も古澤が縦横無尽に弾きまくる。年末の時期に恒例となった共演の機会を楽しみに待ちながら彼らが用意するもの。それはとっておきのクリスマス・プレゼンテーションに等しい一夜のステージなのだ。(文 木幡一誠)



古澤 巖

12/29

この真剣勝負を聴かずして、年は越せない!!  
関西紅白オペラ歌合戦

【指揮】石崎真弥奈(紅組) / 柴田真郁(白組)  
【司会】羽川英樹 【管弦楽】大阪交響楽団  
【カウンターテナー】村松稔之  
【テノール】清原邦仁 / 小餅谷哲男 / 谷 浩一郎 / 二塚直紀  
【バリトン】田中 勉 / 西尾岳史 / 萩原寛明 / 梶 貴志 / 森 寿美 【バス】湯浅貴斗  
【ソプラノ】石橋栄実 / 鬼一 薫 / 木澤佐江子 / 北野加織 / 斉藤言子 / 梨谷桃子 / 並河寿美 / 畑田弘美 【メゾソプラノ】荒田祐子 / 橋 知加子 / 山田愛子



若手からベテランまで、関西の実力派オペラ歌手が集結し、大阪交響楽団による演奏で、名アリアを立て続けに披露していくこの公演。白組代表の田中勉は「お祭りのように、有名な曲ばかりを味わえる斬新な公演になるだろう」と太鼓判を押す。紅組・白組の勝敗の行方は、審査員のほかに、客席にも委ねられる。胸が高鳴るフィナーレに向けて、出演者全員と客席が一体となる、熱い瞬間が待ち受けているだろう。紅組代表の斉藤言子は「文化を根付かせていこうという新たな試み。関西から発信する、ひとつの催しものになれば」と力を込める。ザ・シンフォニーホールの年末の風物詩となるようなコンサートを目指して、いよいよ歌合戦の幕が開ける。(文 金子真由)

2018. 12/29(土)3:00PM S 7,020円 A 5,940円 B 4,860円 (税込)

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 【主催】ザ・シンフォニーホール  
【協力】公益社団法人 大阪交響楽団 / 公益社団法人 関西二期会 / 特定非営利活動法人 関西芸術振興会 / 関西歌劇団 / 堺シテオペラ一般社団法人

12/26

聴いて歌って楽しい!0歳から楽しめるコンサート  
大阪交響楽団  
0歳児からの“光と映像で楽しむオーケストラ”Vol.13

【指揮】松井慶太  
【歌のお兄さん・お姉さん】新井宗平 / 山本かずみ  
【ピアノ】大淵雅子  
【管弦楽】大阪交響楽団



「八木節」(外山雄三「管弦楽のためのラプソディ」より)  
ショパン：「英雄ポロネーズ」(ピアノソロ)◆  
楽器紹介コーナー サン＝サーンス：「動物の謝肉祭」より◆  
おんがくリズムあそびコーナー  
ガーシュウィン：「ラプソディ・イン・ブルー」より◆  
★プロジェクト・マッピングつき ◆ピアノつき

クラシック音楽の生演奏、歌のお兄さん、お姉さんによるリズム遊び、迫力満点のプロジェクション・マッピングなど、お子様の心を掴み、夢中にさせるコンサート。13回目となる今回は、「Vivaラプソディ!!」と題して、ピアノとオーケストラの演奏をテーマにお届けします。楽器紹介コーナーを含む1時間の公演に加え、開演前に行われるロビーコンサートも大人気!ホールにはベビーカー置き場、授乳室、おむつ替え室も完備しているので、ご安心ください。子どもたちの歌声、笑い声(泣き声も)で沸くザ・シンフォニーホールへ是非ご来場ください。

2018. 12/26(水)午前の部 11:00AM 午後の部 2:00PM

Sおとな 2,500円 S子ども 1,500円 Aおとな 2,000円 A子ども 1,000円  
Bおとな 1,500円 B小学生 800円 (税込)

※子ども0歳児から小学生 ※B席は未就学児不可。※乳幼児のお子様(お膝の上でも)必ず座席券をご購入ください。  
【お問合せ】公益社団法人 大阪交響楽団 072-226-5522 【主催】公益社団法人 大阪交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

12/23

荘厳な響き、心地よい音色が優しく包む  
ザ・シンフォニーホール  
クリスマス オルガンコンサート 2018

【オルガン】石丸由佳  
J.S.バッハ：  
オルガン小曲集より「かくも喜びに満てる日」BWV605 / 目覚めよ、と呼ぶ声あり BWV645



J.S.バッハ / C.グノー：アヴェ・マリア  
C.サン＝サーンス：アヴェ・マリア  
F.シューベルト：アヴェ・マリア op.52-6.D.839  
クリスマス・キャロルメドレー ほか

※休憩なし。約60分間のコンサートです。

クリスマスの楽しい思い出は温かな光になって、いつまでも心に残る。毎年チケット売上のクリスマス オルガンコンサートに、今年は石丸由佳が出演。オルガンに迎えられた天使のように、荘厳な音色から親しみやすい音色まで、変幻自在に弾くオルガニストだ。今回のプログラムは、石丸がヨーロッパの音楽大学へ留学中のクリスマスの日に、教会に行ったときに感じた、「厳かな祈り」をイメージして組んだという。バッハの《目覚めよ、と呼ぶ声あり》、サン＝サーンスとシューベルトの《アヴェ・マリア》、《クリスマス・キャロルメドレー》など、パイプオルガンの響きは優しい光となり、クリスマスの一夜を彩るだろう。(文 金子真由)

2018. 12/23(日・祝)7:00PM 全席指定 2,160円(税込)

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 【主催】ザ・シンフォニーホール

12/14

古典タンゴ&ピアノの熱いプログラムでクリスマスを彩る!  
三浦一馬 キンテート  
クリスマス・スペシャル・ナイト

【バンドネオン】三浦一馬  
【ヴァイオリン】石田泰尚  
【コントラバス】高橋洋太  
【ピアノ】山田武彦  
【エレキギター】大坪純平



1st stage -古典タンゴ-  
モデルナ：降る星の如く  
ガルデル：わが懐かしのブエノスアイレス ほか  
2nd stage -ピアノ-  
ピアノ：92丁目通り / アディオス・ソニーノ / キチョ / 五重奏のためのコンチエルト / リベルタンゴ ほか

昨年の好評を受け、2018年も開催が決定した本公演。前半は古典タンゴ、後半には三浦の本領であるピアノをテーマとした、タンゴの歩みを一夜にして楽しめるプログラムということで、すでに大阪のファンから大きな期待が寄せられている。昨年に続き、キンテート(スペイン語で五重奏を意味する)のメンバーとして、三浦が心から信頼をおく、石田泰尚、山田武彦、大坪純平、高橋洋太という最強のメンバーが登場。熱量たっぷりのアンサンブルが聴けるのも、このコンサートのポイントだ。さらにザ・シンフォニーホールでは「ツアーのプログラムから独立した選曲を披露する」とのこと、公演の名のとおり特別な夜を満喫できそうだ。

2018. 12/14(金)7:00PM 全席指定 4,000円(税込)

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 【主催】テレビマンユニオン / ザ・シンフォニーホール

悲劇のヒロインが捧げた愛のうたを華麗な踊りとナレーションで魅了

2019  
1  
3

## ニューイヤー祝祭コンサート2019 『椿姫』『蝶々夫人』



[指揮] 守山俊吾 / [テノール] ミハイル・ミハイロフ、西影星二 / [バリトン] ビセル・ゲオルギエフ、松澤政也 / [アルト] エレーナ・チャウダロヴァ / [ソプラノ] ラドスティーナ・ニコラエヴァ、ヴェラ・ジルジノヴァ、中野綾 / [メゾソプラノ] 杉林貴子 / [ピアノ] 鹿島久美子、鹿島早希子 / [ナレーション] 鈴木美智子 / [バレエ] カンパニーでこぼこ / [合唱団] コーラスアンサンブルいちばん星 / [管弦楽] ニューイヤー祝祭オーケストラ / [演出] 牧野悦子

ヴェルディ: 歌劇『椿姫』 / プッチーニ: 歌劇『蝶々夫人』 / ラヴェル: ピアノ協奏曲 ト長調 第3楽章 / サン＝サーンス: ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 op.22 第3楽章

2019.1/3 (木) 2:00PM

S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 (税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] ミュージック・アート・ステーション 06-6836-7067

[主催] 国際交流協会 (共催) ザ・シンフォニーホール

発売中



ブルガリア国立ソフィア歌劇場のオペラ歌手による豊かな美声と個性溢れるバレエダンサーたちの舞いが好評の「ニューイヤー祝祭コンサート」が今年も開催決定。ヨーロッパでオヘアとバレエの指揮者としても認められている守山俊吾が、より多くのお客様にクラシック・オペラ音楽に親しみを感じ、気軽にホールへ足を運んでもらえるよう、年々新たな試みを織り交ぜています。

今回は、『椿姫』と『蝶々夫人』を繰り広げますが、この二大オペラの名シーンにバレエを織り込んでいくという、斬新な演出が披露されるので、終始目が離せません。さらに、ラジオ・オペラナリテイ、エッセイストとして幅広く活躍する鈴木美智子を迎え、ナレーションが加わるため、オペラコンサートが初めての方も楽しめること間違いなしのステージとなるでしょう。

フィナーレには、お客様と「乾杯の歌」を大合唱しましょう。

誇り高きウィーンの伝統、優雅な響きを携えて来演!

2019  
1  
8

## ウィーン・サロン・オーケストラ ニューイヤーコンサート2019



[音楽芸術監督・コンサートマスター] ウド・ツヴェルファー / [ピアノ] 熊本マリ / [ソプラノ] ヘーゲ・グスターヴァ・ジョン / [テノール] クレメンス・ケルシュバウマー / [バレエ] ズサーナ・フィクローヴァ、ウラジミール・スニチュク / [管弦楽] ウィーン・サロン・オーケストラ

モーツァルト: ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488 / J.シュトラウスII: オペレッタ《こうもり》より序曲 / 美しく青きドナウ / 皇帝円舞曲 / J.シュランメル: ウィーンはいつもウィーン / F.レハール: オペレッタ《メリー・ウィドウ》より「閉ざした唇に」 ほか

2019.1/8 (火) 7:00PM

S 11,000円 S 6,500円 A 4,500円

お年玉席 2,000円 (プロ アルテ ムジケのみの取扱い) (税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677

[主催] プロ アルテ ムジケ / ザ・シンフォニーホール

発売中

世界中から、音楽の都ウィーンへ訪れる人々へ本物のウィーン音楽を本場の雰囲気、一流の音楽家たちによる演奏で届けようという思いのもと1994年に設立された、ウィーン・サロン・オーケストラ。近年ではウィーンにおいて年間300回を超えるコンサートを開催するなど、絶大な人気を誇っている。そんな名門オーケストラが、ザ・シンフォニーホールに初来演!

楽団創設者のひとりであり、音楽芸術監督/コンサートマスターを務めるウド・ツヴェルファーは、ウィーン生まれ、ウィーン・フォルクスオーパーのコンサートマスターを歴任した、ウィーンの音楽を知り尽くした名匠。彼の弾き振りによる、伝統を継いだ優雅な響きをザ・シンフォニーホールで楽しめる、またとないチャンスの到来だ。

今回のステージには、「美しく青きドナウ」、「皇帝円舞曲」などJ.シュトラウスIIの作品を軸に、抜群の実力と人気を誇るピアニスト 熊本マリを迎えて、モーツァルトのピアノ協奏曲 第23番が披露されるという贅沢なプログラムが用意されている。心を躍らせてくれる優美なバレエにも注目したい。

なお、このコンサートは現在、お得なS席ペアチケットも好評販売中。

新年の清々しい時間を、大切な人と過ごしたい方におすすすめだ。

## 新年はザ・シンフォニーホールで音楽三昧!!

2019年、新時代の幕開けを最高の音楽で、晴れやかに祝おう。

2018  
12  
31  
2019  
1  
1

## ザ・シンフォニーホール カウントダウンコンサート2018-2019 & ニューイヤーコンサート2019

新たな1年にご来場のお客様へ  
元気と幸運を願って  
お届けします。



クラシック、オペラ、バレエの世界の名曲を豪華なキャストで贈る、年末年始の恒例『ザ・シンフォニーホールカウントダウン&ニューイヤーコンサート』。この特別なコンサートには、関西の皆様へ、新しい年への活力となるような、素敵な瞬間をお届けしたいという、ホールの思いが込められている。回を重ねるごとに、ここで、ゆくゆく年を迎える人が増え、ますます喝采が沸く感動のシーンが繰り広げられている。

カウントダウンコンサート 2018-2019  
2018.12/31(月) 10:00PM  
※18歳未満の方は保護者の同伴が必要です。  
ニューイヤーコンサート 2019  
2019.1/1(火・祝) 3:00PM

発売中

[指揮] ジョシュア・タン / [バレエ] 松田敏子、小嶋直也、武藤天華、竹中優花 ほか / [オルガン] 富田一樹 / [ソプラノ] セリーヌ・ムロン / [メゾソプラノ] アリマ・マンディ / [テノール] ジェレミー・シュッツ / [バリトン] フィリップ・プロカール / [オーケストラ] The Symphony Orchestra / [司会] 堀江政生 (朝日放送テレビアナウンサー)

モーツァルト: 歌劇『フィガロの結婚』序曲 / モーツァルト: 歌劇『魔笛』より『パパパパ』 / バグナー: 歌劇『カルメン』より『前奏曲』 / バグナー: 歌劇『タンホイザー』より『花の歌』 / ロイド・ウェバー: 『オペラ座の怪人』より『序曲』 / オール・アイ・アスク・オブ・ユー: ミュージカル『キャッツ』より『メモリー』 / ロッシーニ: 歌劇『セビリアの理髪師』より『今の歌声は』 / プッチーニ: 歌劇『トゥーランドット』より『誰も寝てはならぬ』 / チャイコフスキー: バレエ音楽『白鳥の湖』より『情景』 / ロシアの踊り / 『終曲』 / ヴェルディ: 歌劇『椿姫』より『乾杯の歌』 ほか

SS 10,800円※ S 8,640円 A 6,480円 B 4,320円 (税込)  
※SS席の特典として、舞台上で出演者(一部)との記念撮影&お年玉プレゼント(ニューイヤースドリンク)を予定しています。  
[ご予約・お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
[主催] ザ・シンフォニーホール (協力) 宝酒造株式会社

に、世界的な活動を展開。日本のオーケストラとの共演も豊富に集結する、関西の主要楽団の名手たちによる、The Symphony Orchestraとのタッグに注目だ。

プログラムの、壮大な演奏が響き渡る中、バリから招かれた4名のオペラ歌手が、モーツァルト「魔笛」、ビゼー「カルメン」、ロッシーニ「セビリアの理髪師」、プッチーニ「トゥーランドット」などの名アリアなど、オペラの序曲や間奏曲も演奏され、音と歌に酔いしれるひと時になるだろう。バレエは、チャイコフスキー「白鳥の湖」から名場面を選び、ヴァルナ国際バレエコンクールで日本人初の金賞を受賞した小嶋直也を始め、華も実力も持ち合わせたバレエダンサー8名が、華麗な踊りを披露する。

(文) 金子真由

昇天一年メモリアル&“愛のうた”収録CD発売記念 日野原重明プロデュース「ペー・チェ Chorl コンサート」

日野原重明氏の渾身のメッセージを奇跡の歌声で届ける

[テノール]ペー・チェ Chorl [ピアノ]クリスティアン・アガビエ [ナビゲーター]輪嶋東太郎(ヴォイス・ファクトリー代表) ほか

[一部]トーク〜秘蔵映像とともに〜 [二部]「ペー・チェ Chorl コンサート」オンブライフ/アヴェマリア/ゴッドファーザー 愛のテーマ/ゴンドラの唄/長崎の鐘/ねむの木の子守唄/別れの曲/アメイジンググレイス/愛のうた(日野原重明 作詞・作曲) ほか ※曲目は変更の可能性がございます。予めご了承ください。

2019.2/1(金) 7:00PM

S 7,000円 A 5,000円 (税込)

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]エス・ピー・エス 06-6204-0412

[主催]ヴォイス・ファクトリー/滋慶学園グループ/ザ・シンフォニーホール

発売中



2017年7月に105歳で死去した医師 日野原重明氏の一周忌を偲び、そして氏が作詞・作曲をした「愛のうた」を収録したCDの発売を記念して「ペー・チェ Chorl コンサート」が開催される。(延期となった9月6日公演の振替となります)
日野原氏が「100年以上の人生の中で、歌を通して神を初めて感じた」というペー・チェ Chorl の歌。この歌声を届けることが、自分のできる世界平和への貢献であるという強い思いからこのコンサートはスタートしました。ザ・シンフォニーホールでは今回で4度目の開催となります。
毎回、会場が総立ちの歓声に包まれるこのコンサートを今後も長く続けていくことに大きな喜びと期待を寄せていた日野原氏。コンサートの前半は、晩年の貴重な未公開映像とともに、氏が残した、いのちのメッセージをお届けします。
そして後半には、奇跡のテノールと称されるペー・チェ Chorl による演奏をたっぷり。7月にリリースされたCDにも収録されている「アヴェマリア」、「アメイジンググレイス」、「別れの曲」、「ねむの木の子守唄」、そして日野原氏の意思を引き継いだ「愛のうた」ももちろん披露されます。
ペー・チェ Chorl の庄巻の歌声と人々の心に鮮明に届き、生きる力を強く持たせてくれる日野原氏のメッセージを聴きに、ぜひホールへ足をお運びください。

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ 第123回定期演奏会

シーズンのラストは、世界最高峰のトロンボーン奏者が登場!

[指揮・トロンボーン]クリスチャン・リンドバーク [吹奏楽]Osaka Shion Wind Orchestra

H.アルヴェン:組曲「山の王」op.37/C.リンドバーク:管楽と打楽器のための協奏曲/C.リンドバーク:マンドレイク・オン・ザ・コーナー(庭隅のマンドラゴラ)

2019.2/2(土) 2:00PM

S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円 (税込)

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]Shionチケットセンター 0800-919-5508

[主催]公益社団法人 大阪市音楽団

発売中



山下一史や飯森範親を招き、多くの秀演を聴かせてくれたオオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ(以下、Shion)の2018〜19年シーズン。そのラストを飾る定期演奏会が盛大に開催される。指揮は、スウェーデンが生んだ世界最高のトロンボーン奏者で、00年からは指揮者としても活躍中のクリスチャン・リンドバーク。近年はトリオ・タンゴフォリアやフィンランド・タンペレ・フィルの公演でも当ホールに登場しているので、ご存知の方も多いことだろう。
今回の注目は、近現代スウェーデンの代表的作曲家アルヴェンの組曲「山の王」。魔法をかけられた羊飼いの娘を描いたバレエ音楽から自身が4曲抜粋した作品で、編成も大規模。彼の作風の特長である、北欧の美しく雄大な風景を彷彿とさせるロマンティックな音楽を存分に味わいたい。
また同じく楽しみなのが、1997年から作曲も手がけるリンドバークの自作曲。「管楽と打楽器のための協奏曲」と「マンドレイク・オン・ザ・コーナー」だ。「協奏曲」は、劇性と神秘が交錯する約15分の濃密な小品で、ソロも次々に入れ替わるので、Shionの名手たちに改めてスポットライトが当たるはず。そして、「庭隅のマンドラゴラ(魔術で使われたナス科の薬草)」を意味する「マンドレイク」では、リンドバークがソロも担当するので、世界一の妙技に酔いしれよう!

(文 渡辺謙太郎)

3大協奏曲 2019 ~次世代を担う未来の巨匠たち~

俊英3人のヴィルトゥオーゾたちによる、絢爛豪華なコンチェルトの世界

[チェロ]横坂 源 [ヴァイオリン]川久保陽紀 [ピアノ]関本昌平 [指揮]山下一史 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

ハイドン:チェロ協奏曲 第1番 八長調 Hob.VIIb:1/チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 二長調 op. 35/ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番 八短調 op. 18

2019.1/6(日) 2:00PM

S 6,480円 A 5,400円 B 4,320円 (税込)

[ご予約・お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



2018年、チケット完売で大好評を博した「3大協奏曲」次世代を担う未来の巨匠たち」が、2019年も開催。世界レベルの実力派3人の俊英が選りすぐりの名曲とともに、絢爛豪華なザ・シンフォニーホールのステージを鮮やかに彩る。
ミュンヘン国際コンクール第2位の実力者、横坂源が選んだのは、ハイドン《チェロ協奏曲第1番》。オーケストラとソロは同じ方向を見ながら紡ぎ出していきます。フレーズからはピュアな美しさが感じられ、また遊び心が随所に散りばめられています」とプログラムの聴きどころを語る。
チャイコフスキー国際コンクール第2位受賞者、川久保陽紀の弾くチャイコフスキー《ヴァイオリン協奏曲》も聴ける。彼女がこの曲と出会ったのは14歳の時で「まるでロシアそのものの色、味、情熱:これらすべてがあふれているような感じ」とのこと。
そして関本昌平は、「33歳にして、ラフマニノフ《ピアノ協奏曲第2番》に初めて挑みます。さまざまなパートのソロとの掛け合いや美しい歌もあり、一方でピアノスティックに激しい部分もあり、多彩なコントラストが素晴らしい音楽」と期待を込める。
共演は、熟練したタクトで定評のある山下一史と、メンバーが一丸となって音楽作りに取り組み日本センチュリー交響楽団。熱いパッションのあふれる舞台になるに違いない。

(文 道下京子)

The Symphony Hall Big Band ~Music Director 菊池寿人~ Vol.13

テノール 加藤ヒロユキを迎え、オペラ×歌謡曲×ジャズの奇跡のコラボ

[演奏]The Symphony Hall Big Band [スペシャルゲスト・テノール]加藤ヒロユキ

コール・ポーター:ミュージカル「キス・ミー・ケイト」より「ソー・イン・ラヴ」/ブッチーニ/サミー・フェイン:歌劇「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」~映画「暮情」のテーマ/米山正夫:映画「りんご園の少女」より「津軽のふるさと」/「リンゴ追分」/ニーノ・ロータ:太陽がいっぱい/ジュール・マスネ:タイスの瞑想曲/ミシェル・ルグラン:風のささやき ほか

2019.1/22(火) 7:00PM

S 5,400円 A 4,320円 B 3,240円 (税込)

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]大阪アートエージェンシー 072-648-3852 [主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



クラシック、オペラ、映画音楽、タンゴ、ポップス...何でもござれ!ザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンドの手にかければ、心も体もスウィングできるジャズナンバーに早変わりする。
リーダー/音楽監督の菊池寿人(トランペット)をはじめとした精鋭16人は、これまで、ヴァイオリン、声楽、アコースティックギター、さらには和太鼓、アコーディオンなど幅広い奏者たちと共演し、ジャズの新たな魅力と可能性をステージで見せてきた。
そんな彼らの2019年一発目のコンサートには、テノール歌手の加藤ヒロユキがゲストとして登場。ザ・シンフォニーホールでは3度目の共演となり、すでに息がぴったり。加藤は「これほど魂が揺さぶられたことはないほど、気持ち良くはまっている」と語るほどだ。
毎回、斬新なアレンジもこのコンサートの大きな聴きどころ。今回の注目は、映画「りんご園の少女」で美空ひばりが歌唱した「津軽のふるさと」と間奏曲として「リンゴ追分」が披露される。昭和の大名曲がどのようにジャズアレンジされるのか、加藤の力強く高らかに響く歌声と併せて、その未知数の魅力に期待が高まる。
その他、映画「キス・ミー・ケイト」より「ソー・イン・ラヴ」、歌劇「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」、映画「暮情」のテーマなど、バラエティに富んだプログラムが届けられるので、楽しみにしよう。

### 川井郁子 シンフォニック バレンタインコンサート ~シネマ・ファンタジー~

ジャンルを超えてドラマチックに音を奏でる。  
大切な人と聴きたい、愛に溢れたコンサート

[ヴァイオリン]川井郁子 [ハープ]朝川朋之 ウェスト弦楽合奏団  
 パーンスタイン:『ウェストサイド・ストーリー』より/R.ロジャース:『サウンド・オブ・ミュージック』より/秦 基博:ひまわりの約束/ロータ:ロミオとジュリエット/坂本龍一:ラスト・エンペラー/A.メンケン:『アラジン』より『A Whole New World』ほか

**2019.2/11(月・祝) 2:00PM**  
 S 5,400円 A 4,320円 (税込)  
 [ご予約・お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
 [主催]アイケイ・オフィス/ザ・シンフォニーホール



発売中

ザ・シンフォニーホールでは、2019年もヴァイオリニストの川井郁子による「シンフォニック バレンタインコンサート」を開催。今年のテーマは「シネマ・ファンタジー」だ。幅広い年代の聴き手が楽しめるような映画やミュージカルの音楽がプログラムを彩る。

「映画音楽は、いろんな愛の形を想像していただけるので、バレンタインコンサートにふさわしいと思います」彼女は、これまでにコンサートやテレビなどで映画音楽を数多く取り上げ、見事なアレンジを見せてくれた。

「映画をご覧になってなくても、音楽から映画に興味を持っていただくのもいいかもしれません」川井は、「ミュージカルに負けない音楽舞台を創り上げるのが、ひとつの夢です」と語る。クラシック音楽にとどまらず、シャンソンやタンゴなどの音楽やダンス、演技などさまざまなエッセンスが複合された音楽舞台を創り上げ、ジャンルを超えた幅広いファンを魅了し続ける。

共演は、作曲家でハープ奏者としても活躍する朝川朋之。そして、川井が教授を務める大阪芸術大学で教えた若手演奏家たちも弦楽合奏としてステージを共にする。

「映画と同じように思い出に残るような2時間にしたい。ぜひ、大切な人と聴きにきていただきたいです」

(文 道下京子)

### 長富彩 ピアノ・リサイタル Vol.3 オール・ショパン・プログラム

3度目のリサイタルは、ショパンの光と影を描く。  
新たな挑戦に注目を!

[ピアノ]長富彩  
 【オール・ショパン・プログラム】バラード 第1番 ト短調 op.23/バラード 第4番 短調 op.52/スケルツォ 第1番 短調 op.20/ワルツ 第3番 イ短調 op.34-2「華麗なる円舞曲」/ワルツ 第7番 嬰ハ短調 op.64-2/12の練習曲 op.25 全曲

**2019.2/9(土) 7:00PM**  
 全席指定 3,000円 (税込)  
 [ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
 [お問合せ]テレビマンユニオン 03-6418-8617  
 [主催]テレビマンユニオン/ザ・シンフォニーホール



発売中

作曲家が音に込めた思いに寄り添い、高度なテクニックで情感溢れる演奏を聞かせてくれる長富彩。作品への探究心と内なる強さが込められた音色は聴く者を魅了し、リサイタル、国内オーケストラとの共演、CDリリースなど、著しい活躍を見せている。

ザ・シンフォニーホールでのリサイタルシリーズ3回目となる今回は、オール・ショパン・プログラムだ。

初リサイタルとなった第1回目にベートーヴェン/リスト、第2回目にラフマニノフを演奏し、大好評を博してきた彼女。作曲家の人生の変遷を音にのせて、名曲の新しい魅力をステージで伝えてきた。

プログラムは、バラード1番(フィギュアスケートの羽生結弦選手が平昌オリンピックで使用したことで話題となった)とショパン作品の中でも傑作として知られる第4番の2曲。その他、ワルツ「華麗なる円舞曲」に加えて、「エオリアン・ハーブ」「恋の二重唱」「蝶々」「木枯らし」といった人気の曲が含まれた12の練習曲op.25全曲を演奏するという、充実した内容となっている。

12の練習曲op.25について長富は、「私にとっても挑戦のひとつ」とし、「全曲を通してひとつの物語のように楽しんでほしい」と意気込みを話す。華やかな印象が強いショパンの作品だが、実際は病弱であったり母国を革命によって失ったりと、苦悩の連続だったという。ショパンの人生の「光と影」を感じながら、じっくりと演奏を楽しもう。

### 大植英次指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団 「シェエラザード」×「春の祭典」

感動再び!! 最強タッグの待望の第二弾は、  
マエストロ歓びの管弦楽がカップリング

[指揮]大植英次 [管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団  
 リムスキー=コルサコフ:交響組曲「シェエラザード」 op.35/ストラヴィンスキー:バレエ音楽「春の祭典」

**2019.2/22(金) 7:00PM**  
 S 7,020円 A 5,940円 B 4,860円 (税込)  
 [ご予約・お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
 [主催]ザ・シンフォニーホール/公益社団法人大阪フィルハーモニー協会



発売中

音楽監督を経て、桂冠指揮者に就任した現在も、大阪フィルと良好な関係が続く大植英次。今年3月の「大阪フィル70周年×ザ・シンフォニーホール35周年特別コンサート」でもベートーヴェン「英雄」とR.シュトラウス「アルプス交響曲」を組み合わせて演奏し、大喝采を浴びたことは記憶に新しい。あの感動がふたたび、新たなプログラムによる第2弾として実現する!

注目の演目は、リムスキー=コルサコフの交響組曲「シェエラザード」と、ストラヴィンスキーのバレエ音楽「春の祭典」。前者は「一夜一夜物語」の語り手シェエラザードをモチーフにした4楽章作品で、ロシア音楽に東洋趣味を織り交ぜたエキゾチックな音楽絵巻。一方、古代の生贄の儀式を描いた後者は、その複雑極まるリズムや和声などから初演の評価が大きく分かれ、聴き手が殴り合いまでしたという20世紀の衝撃作だ。

大植は、初期の大きなキャリアになったミネソタ管弦楽団の音楽監督時代、ウィーン楽友協会デビュー(1998年)の際に、この鮮烈で色彩豊かな2曲を指揮。本誌前号でも、その時の感動とチャレンジした気持ちがいかに蘇り、非常に楽しみだと意気込んでいた。それから20余年を経た今回は、当時の持ち味だったストレートな音楽作りに豊かな表情が加わり、さらに盟友・大阪フィルの好サポートも得て、見事な大輪の花を咲かせることだろう!!

(文 渡辺謙太郎)

### カティア・ブニアティシヴィリ ピアノリサイタル

世界が大注目する華麗な技巧と独特の表現力。  
ザ・シンフォニーホール、記念すべき初リサイタル

[ピアノ]カティア・ブニアティシヴィリ  
 シューベルト:ピアノ・ソナタ第21番 変ロ長調 D960/シューベルト:リスト編:セレナーデ(白鳥の歌より) S.560-7/糸を紡ぐグレートヒェン S.558-8/魔王 S.558-4/リスト:超絶技巧練習曲 第4曲「マゼッパ」 S.139-4/ハンガリー狂詩曲 第6番 変ニ長調 S.244-6

**2019.2/10(日) 1:30PM**  
 S 5,500円 A 4,500円 (税込)  
 [ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
 [お問合せ]リパティ・コンサーツ 06-7732-8771  
 [主催]MBS/キョードー [共催]堺市/公益財団法人堺市文化振興財団



発売中

1987年生まれで、若くして頭角を表し、室内楽、協奏曲のソリストとしても活躍中のジョージア出身のピアニストのカティア・ブニアティシヴィリ。繊細な音色と独特の表現力を兼ね備えた彼女の魅力は、近年益々注目を集めている。本公演は、まさにブニアティシヴィリのさまざまな側面を垣間見ることのできる絶好の機会となる。

これまで協奏曲のソリストとしてザ・シンフォニーホールに登場し、聴衆を魅了してきたが、今回は同ホールで初のソロ・リサイタルとなる。前半はシューベルトのピアノ・ソナタ第21番。抒情味あふれる歌の世界を堪能できるだろう。後半は趣向がやや変わり、オール・リスト・プログラム。リストは彼女の十八番で、初録音もリストだった。すでに高い評価を得ているレパートリーだけに興味は尽きないが、まず演奏されるのが、シューベルトの名作歌曲《セレナーデ》《糸を紡ぐグレートヒェン》《魔王》のリストによるピアノ独奏版。麗しい旋律美に耳を傾けつつ、原曲との微妙な違いやリストが付加した技巧の妙味を聞くのも一興だろう。そしてリストの超絶技巧練習曲より第4曲《マゼッパ》、ハンガリー狂詩曲第6番へと続く。

彼女の演奏の大きな魅力は疾走するようなダイナミックなテンポ感と華麗な技巧。その美点が最大限に発揮される選曲に大いに期待である。

(文 伊藤制子)

日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール ラフマニノフ&サン＝サーンス 2つの第3番

注目のソリスト2人を一夜にして聴く好機会! 作曲家の大きな進化とその飛躍を楽しむ「第3番」。

[指揮]飯森範親 [ピアノ]上原彩子 [オルガン]富田一樹 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第3番 二短調 op.30/サン＝サーンス:交響曲 第3番 八短調 [オルガン付き] op.78

2019.3/21(木・祝) 2:00PM

S 5,940円 A 4,860円 B 3,780円 (税込)

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]センチュリー チケットサービス 06-6868-0591

[主催]公益財団法人 日本センチュリー交響楽団/ザ・シンフォニーホール

発売中



中学生の多感な時期、部屋で落ち込んでいたときにたまたまラジオでタンゴと出会った。そこから僕のままの歌手人生が始まりました。持ち味である甘くやさしい歌声で、30歳のときに念願のレコードデビューを飾ると「知りたくないの」や「今日でお別れ」などがヒットし、紅白歌合戦には連続22回出場。85歳になった今も、生涯現役をモットーに歌い続ける。2018年はシリーズ最新アルバムも発売した。CDがそのときに録れた歌を残す話だとしたら、コンサートはその日の会場のホールの鳴り、音響さん、演奏者、ゲストさん、そしてお客さん...それらすべてを共鳴しながらその日ごとの歌を作っていくようなもの。ピアノ、アコーディオン、ベースを演奏者に迎える本公演は、菅原以外に息子の菅原英介、元宝塚歌劇団の神奈あいと花城アリアがスペシャルシンガーとして参加し、花を添える。当日は菅原のヒット曲はもちろん、紅白でも歌ったタンゴ「ラ・クンパルシータ」も歌唱予定だ。85歳、歌手生活は60年。「長いような、短いような感じ。今はいろんな歌がある中で僕を選んで聴いてくれる人に感謝することが大事。今日が最後だ」という気持ちで歌い続けます。コンサートならではの、歌を堪能してほしい。

(文) 高坂はる香

菅原洋一コンサート 2019 ~歌いつづけて60年~

いつも最後だという気持ちで歌う、活動60年、85歳の堂々たるステージ。

[出演]菅原洋一 [ゲストシンガー]神奈あい、花城アリア、菅原英介 [ピアノ]大貫祐一郎 [アコーディオン]桑山哲也 [ベース]小笹了水

知りたくないの/今日でお別れ/知床旅情/ラ・クンパルシータ/愛の讃歌 (ほか)

2019.3/8(金) 2:00PM 全席指定 6,000円 (税込)

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]エス・ビー・エス 06-6204-0412

[主催]エス・ビー・エス/ザ・シンフォニーホール

一般発売:11/21(水)



「中学生の多感な時期、部屋で落ち込んでいたときにたまたまラジオでタンゴと出会った。そこから僕のままの歌手人生が始まりました。持ち味である甘くやさしい歌声で、30歳のときに念願のレコードデビューを飾ると「知りたくないの」や「今日でお別れ」などがヒットし、紅白歌合戦には連続22回出場。85歳になった今も、生涯現役をモットーに歌い続ける。2018年はシリーズ最新アルバムも発売した。CDがそのときに録れた歌を残す話だとしたら、コンサートはその日の会場のホールの鳴り、音響さん、演奏者、ゲストさん、そしてお客さん...それらすべてを共鳴しながらその日ごとの歌を作っていくようなもの。ピアノ、アコーディオン、ベースを演奏者に迎える本公演は、菅原以外に息子の菅原英介、元宝塚歌劇団の神奈あいと花城アリアがスペシャルシンガーとして参加し、花を添える。当日は菅原のヒット曲はもちろん、紅白でも歌ったタンゴ「ラ・クンパルシータ」も歌唱予定だ。85歳、歌手生活は60年。「長いような、短いような感じ。今はいろんな歌がある中で僕を選んで聴いてくれる人に感謝することが大事。今日が最後だ」という気持ちで歌い続けます。コンサートならではの、歌を堪能してほしい。

(文) 東條祥恵

思い出がいっぱい 珠玉のシネマ名曲 SELECTION VOL.5 荒庸子 チェロ・リサイタル 2019

チェロの優しい音色で描き出す映画音楽の世界、懐かしい思い出が生き生きと蘇る!

発売中

Interview

[チェロ]荒庸子 [ピアノ]山田武彦

マンシーニ:「ティファニーで朝食を」より「ムーン・リバー」/チャップリン:「ライムライト」より「エターナリー」/「モダン・タイムズ」より「スマイル」/メンケン:美女と野獣/モリコーネ:「海の上のピアニスト」より「愛を奏でて」/「海の上のピアニスト」より「愛を奏でて」/ハーウィッツ:「ラ・ラ・ランド」より「アナザー・デイ オフ サン」/ピアソラ:リベルタンゴ/サン＝サーンス:「動物の謝肉祭」より「白鳥」/フェイン:「暮情」より テーマ曲 (ほか)

2019.3/23(土) 7:00PM S 3,240円 A 2,160円

プレミアムシート 4,320円[S席+スパークリングワイン1杯(開場・休憩時に2Fカフェにてご利用可能)] (税込)

[ご予約・お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]カノン・ミュージック/ザ・シンフォニーホール



©Ai Ueda

春の訪れとともに荒庸子が贈る人気シリーズ「思い出がいっぱい」。「桜が咲き始める心浮き立つ季節、大切な方とゆっくり映画音楽やクラシック作品を楽しみながら、懐かしい思い出に浸っていただきたいですね」50〜60年代の映画音楽、ピアソラ《リベルタンゴ》、サン＝サーンス《白鳥》など、毎回演奏する作品もライブ演奏ならではの新鮮な魅力にあふれている。「作曲家・ピアニストの山田武彦さんとの共演は、ステージで何が起こるかわからないワクワク感があつて、一期一会の音楽が楽しみです」今回の聴きどころは、アカデミー賞作品「ラ・ラ・ランド」のサウンド・オブ・ミュージックの音楽。「私が好きな映画音楽、今奏でたい曲を集めました。子どもの頃に観て感動した映画は最近10歳の娘と一緒に観て、感動を新たにしました」映画音楽を集めた2枚目のアルバム「Smile」も大好評だ。「尊敬する映画俳優・芸術家、チャップリンの代表作『モダン・タイムズ』のテーマ曲『Smile』が大好きです。彼の笑顔でさえいれば明日は、きっといいことがある」という言葉は、いつも私を勇気づけてくれます。聴いてくださった方たちが幸せな笑顔で帰ってくださればいいなと思います」

(取材・文) 森岡葉

The Symphony Hall String Quintet Vol.5

まだ知らない名曲の魅力を発見! ここでしか聴けない極上のアンサンブル。

発売中

[ヴァイオリン]田野倉雅秋、岡本伸一郎 [ヴィオラ]木下雄介 [チェロ]北口大輔 [コントラバス]村田和幸

レスピーギ:リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲/タルティーニ:悪魔のトリル (弦楽五重奏版)/ショスタコーヴィチ:室内交響曲 op. 110a (ほか)

2019.3/18(月) 7:00PM

全席指定 3,240円 (税込)

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]大阪アートエージェンシー 072-648-3852 [主催]ザ・シンフォニーホール



写真左から、田野倉雅秋(大阪フィルハーモニー交響楽団)/岡本伸一郎(大阪交響楽団)/村田和幸(日本センチュリー交響楽団)/北口大輔(日本センチュリー交響楽団)/木下雄介(大阪フィルハーモニー交響楽団)

ヴァイオリン2挺、ヴィオラ、チェロ+コントラバスという弦楽五重奏では珍しい編成で様々な楽曲に挑戦し、室内楽の魅力が多角的に紹介している、ザ・シンフォニーホール・ストリングクインテット。田野倉雅秋(Vn)/大阪フィルハーモニー交響楽団首席コンサートマスター)を筆頭に、関西の名門オーケストラの首席奏者がずらりと並び、このヴェルトウオーゾ集団は、ホールと一緒に響きを作り、天国的な心地よさを感じさせるアンサンブルで聴く者を魅了している。メンバー5人それぞれが、姿勢も表情も奏法も、オーケストラで演奏をしているときとはまた違った魅力を展開していくのも、この公演の注目ポイントだ。来年3月に開催が決定した次回のプログラムには、人間の業を超えるような演奏技術を要するという、タルティーニ「悪魔のトリル」(弦楽五重奏版)をはじめ、ショスタコーヴィチ「室内交響曲」など多彩だ。隠れた名曲への挑戦とステージを独創的に活用する奏法など、この5人だからこそこのこだわりも感じられる演奏に期待してほしい。また、たくさんの方に気軽に足を運んでもらいたいというテーマのもと、メンバーによるわかりやすい曲解説も行われる。極上のアンサンブルとあわせてこちらも毎回好評だ。最高の音楽を思いのままに楽しめる空間がここにある。

